

コロナ禍3年後のこれから—三重県調査報告—

Three Years After the Corona Disaster—Mie Prefecture survey report—

南 泰代*

Yasuyo Minami

1. はじめに

(1) 研究の目的と背景

新型コロナウイルスが、日本国内で初めて発生または発見されたのは、「2020年1月16日」頃である。緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置が発令され、自粛生活が求められた。大企業ではオンラインでの仕事が始まり、中小企業では縮小になり、倒産する企業も出た。コロナ患者になり、周囲の冷たい態度に自殺した人も出た。2022年9月、筆者は自粛生活についての調査報告を発表した。

コロナ禍から3年間ワクチン接種も進んだが変異株も多く、死者も多く出た。3年間で患者数は3300万人以上、死者数7万人以上となった。2022年度の高齢者施設での虐待は700件以上、家庭内での虐待は10万人以上、高校生の学力低下、小中学生の体力低下、ゲーム生活での夜更かし等多くの課題が発生した。男女の出会いもなく、結婚の機会もなくなった。その上、妊娠、出産も控え、出生数は最小の81万人になった。

2022年秋から経済活動の再開となり、行動制限もなくなりウィズコロナが叫ばれるようになった。2023年春からはマスク着用も個人での判断となった。スーパーコンピューター「富岳」での結果から感染予防にはマスク着用は効果があると発表されている。

2022年12月から2023年3月、ワクチン接種、マスク使用、そしてこれからの希望に向けて第2回目の調査を行った。三重県は本土の真ん中に位置し、森林率も平均で、北部は大都市に隣接し、南部は過疎地域を多く含む地域で平均的な県である。コロナ禍も22位と真ん中に位置する。三重県でも学生の行動からのクラスター、高齢者施設でのク

ラスター、県庁、自治体でのクラスターに危機感を感じた住民も多い。この三重県での調査を行うことが重要と考える。

先行研究

筆者は、2021年7月から9月、学生、医療従事者、社会でコロナ禍の中での自粛生活について調査を行い2022年9月に学会で発表した。当時、学生の行動が問題視されていたが、ストレスを抱えている学生が多かったことを明らかにした。社会では、外出・外食の自粛が守られていたことを報告した。また、マスク会食があまり進んでいなかったこと、うがいをする人が少なかったことを報告し、さらに感染予防の意識を持つことを望んだ。

2. 調査

(1) 調査

2022年12月から2023年3月までアンケート調査と聞き取り調査を行った。平均的である三重県内での調査である。筆者はイベントにてアンケート調査と聞き取り調査を行った。自治体、勤労施設、公民館、審議会委員、学生、友人に協力をいただいた。アンケート用紙を500枚配布し、376枚の有効回答を得た。

(2) 倫理的配慮

アンケート用紙の上部に、「無記名で行います。秘密は厳守します。研究の為に調査です」と明記した。回答は○と選択式とし、記述コーナーを設けた。性別は多様性に反するが、分析の為に記述式とした。イベントでは筆者の名前を書いた箱を胸にぶら下げて調査を行った。筆者の住所や名前を記入した封筒にアンケート用紙を10~30枚同封しご

*神戸教育短期大学 KOBE COLLEGE OF EDUCATION

協力をお願いした。

(3) 調査対象

男性 143 人 38%、女性 225 人 59.8%、無記名 8 人 2.1% である。無記名が LGBTQ という事ではない。現在、自治体の調査では無記名になっている。

年代は、10代 41 人 10.9%、20代 28 人 7.4%、30代 57 人 15.1%、40代 56 人 14.8%、50代 64 人 17%、60代 77 人 20.4%、70代 34 人 9%、80代 17 人 4.5%、90代 2 人 0.5%である。

| 年齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 90代 | 総計 | n=376 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-----|-------|
| 男 | 18 | 14 | 28 | 19 | 21 | 24 | 14 | 5 | 0 | 143 | 0.38 |
| 女 | 23 | 13 | 29 | 35 | 40 | 52 | 20 | 11 | 2 | 225 | 0.598 |
| 無記名 | 0 | 1 | 0 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 8 | 0.021 |
| 総計 | 41 | 28 | 57 | 56 | 64 | 77 | 34 | 17 | 2 | 376 | |
| | 0.109 | 0.074 | 0.151 | 0.148 | 0.17 | 0.204 | 0.09 | 0.045 | 0.005 | | |

職業は、無職 72 人 19.1%、医療従事者 28 人 7.4%、公務員 33 人 8.7%、会社員 94 人 25%、教師 12 人 3.1%、自営業 16 人 4.2%、パート 71 人 18.8%、アルバイト 8 人 2.1%、学生 42 人 11.1%である。多様な職業の方にご協力をいただいた。

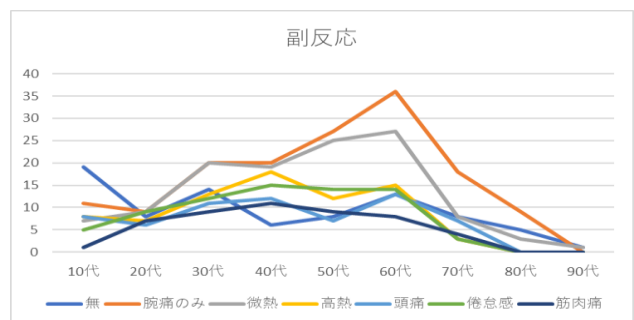
| 職業 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 90代 | 総計 | n=376 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 無職 | 2 | 1 | 5 | 3 | 4 | 17 | 21 | 17 | 2 | 72 | 0.191 |
| 医療従事者 | 0 | 1 | 11 | 9 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 28 | 0.074 |
| 公務員 | 0 | 5 | 7 | 8 | 7 | 6 | 0 | 0 | 0 | 33 | 0.087 |
| 会社員 | 1 | 13 | 25 | 22 | 23 | 8 | 2 | 0 | 0 | 94 | 0.25 |
| 教師 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 | 1 | 0 | 0 | 12 | 0.031 |
| 自営業 | 0 | 0 | 2 | 1 | 4 | 6 | 3 | 0 | 0 | 16 | 0.042 |
| パート | 0 | 0 | 6 | 12 | 20 | 28 | 5 | 0 | 0 | 71 | 0.188 |
| アルバイト | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 8 | 0.021 |
| 学生 | 36 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 42 | 0.111 |
| 総計 | 41 | 28 | 57 | 56 | 64 | 77 | 34 | 17 | 2 | 376 | |

3. 調査結果

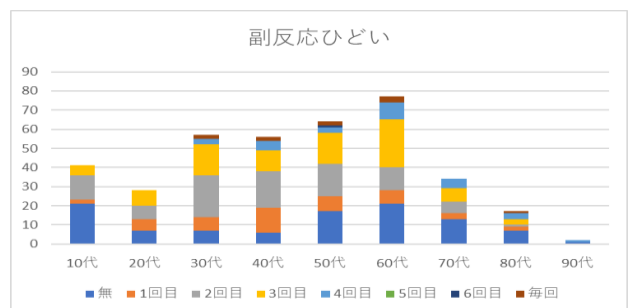
前回の調査では、ワクチン接種の 1 回目は医療従事者から始まり、高齢者へと進められたので、医療従事者では 100%であった。今回の調査では、10 代の接種は遅く始まったため回数も少ない。10代は 1.707、20代は 2.392、30代は 2.666、40代は 2.928、50代は 2.952、60代は 3.776、70代は 3.588、80代は 4.00、90代は 4.00 である。高齢者は重症リスクが高いと勧められたので高い結果となっている。年代が上がるほどワクチン回数が多い事がいえた。(1回 1点、2回 2点、3回 3点、4回 4点、5回 5点とした)

| 年齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 90代 | 総計 | n=376 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-------|
| 0回 | 13 | 3 | 6 | 2 | 6 | 1 | 1 | 0 | 0 | 32 | 0.085 |
| 1回 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0.013 |
| 2回 | 11 | 10 | 16 | 13 | 8 | 5 | 1 | 0 | 0 | 64 | 0.17 |
| 3回 | 11 | 13 | 18 | 26 | 26 | 11 | 7 | 2 | 0 | 114 | 0.303 |
| 4回 | 3 | 2 | 15 | 15 | 23 | 51 | 22 | 13 | 2 | 146 | 0.388 |
| 5回 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 8 | 2 | 2 | 0 | 13 | 0.034 |
| 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0.005 |
| 総計 | 41 | 28 | 57 | 56 | 64 | 77 | 34 | 17 | 2 | 376 | |
| 1~5回 | 1.707 | 2.392 | 2.666 | 2.928 | 2.952 | 3.776 | 3.588 | 4 | 4 | | |

ワクチンの副反応は無 82 人 21.8%である。腕痛のみ 150 人 39.8%、微熱 119 人 31.6%、高熱 76 人 20.2%、頭痛 64 人 17%、倦怠感 72 人 19%、筋肉痛 49 人 13%である。他に、めまい 1 人、寒気 1 人、入院 2 人である。複数の症状を回答した人も多かった。



ワクチンの副反応で何回目がひどかったかは、ゼロ 100 人 26.5%、1 回目 48 人 12.7%、2 回目 97 人 25.7%、3 回目 91 人 24.2%、4 回目 29 人 7.7%、5 回目 0 人 0%、6 回目 1 人 0.2%、毎回 10 人 2.6%である。2 回目、3 回目がひどいと回答した人が多かった。モデルナは副反応がひどかったので、4 回目はファイザーに変えたという人の声があった。

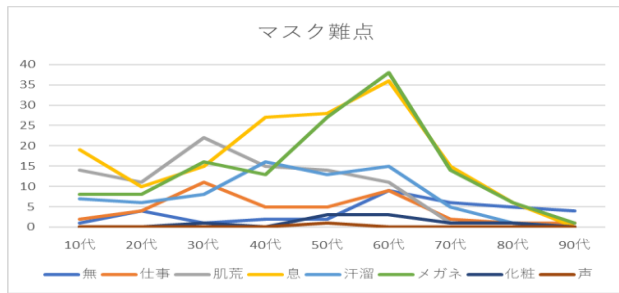


マスクは、高額で売られ、競争で購入した時があったが、現在は 30 枚 500 円以下が多くなった。生地も綿、絹、ポロエステル等多種類のマスクが売られるようになり、3 層や 4 層の不織布に落ち着いた。ジョギングには、スカーフ型を使う人もいた。色も柄も多種多様になり、クールマスクもでき、息をすると冷たい空気がマスクの中で充満した。形も従来型から、立体になり、息がしやすい、化粧が付かない

使い捨てが好評のようである。



マスク難点は、無は 34 人 9%、仕事がしにくい 34 人 9%、肌荒れ 40 人 10.6%、唇荒れ 89 人 23.6%、息がしにくい 156 人 41.4%、汗が溜まる 71 人 18.8%、メガネが曇る 131 人 34.8%、化粧がはげる 9 人 2.3%、声が届かない 1 人 0.2% である。4 割以上の人々が、息がしにくく困っていたことがわかる。3.5 割の人々が、メガネが曇ると困っていたことが理解できる。筆者もメガネ無しでは生活ができないので困ることが多かった。



仕事の変化は、変化無 292 人 77.6%、増えた 34 人 9%、減った 41 人 10.9%、首になった 6 人 1.5%、転職 3 人 0.7% である。変化無と回答した人が多かった。

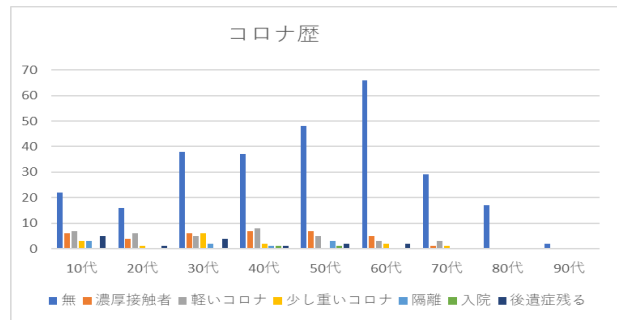
収入の変化は、変化無 294 人 78.1%、増えた 11 人 2.9%、減った 44 人 11.7%、年金のみ 22 人 5.8%、ひどい 5 人 1.3% である。仕事が増えたが収入の変化無は 21 人、減ったが 2 人である。仕事はコロナ禍で増えたにも関わらず、収入は増えていないのが現実である。また、首になり生活がボロボロになったと回答した人もある。

| 収入/仕事 | 変化無 | 増えた | 減った | 首になった | 転職した | 総計 | n = 376 |
|-------|-----|-----|-----|-------|------|-----|---------|
| 変化無 | 259 | 21 | 14 | 0 | 0 | 294 | 78.191 |
| 増えた | 2 | 9 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0.029 |
| 減った | 12 | 2 | 25 | 3 | 2 | 44 | 0.117 |
| 年金のみ | 18 | 2 | 1 | 1 | 0 | 22 | 0.058 |
| ひどい | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 4 | 0.01 |
| 無回答 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0.002 |
| 総計 | 292 | 34 | 41 | 6 | 3 | 376 | |

コロナ歴は無 275 人 73.1%、有は 101 人 26.8% である。コロナ歴の詳細は、濃厚接触者 36 人 9.5%、軽いコロナ 37 人 9.8%、少し重いコロナ 17 人 3.9%、隔離 9 人 2.3%、入院 2 人 0.5% である。後遺症が残っていると回答した人は、

15 人 3.9% である。三重県は、コロナ患者数は 3 年間真ん中を維持していたが、今回の調査では 7 割以上の人々がコロナ歴はなかった。

コロナ歴有の 10 代は 24 人 58.5%、20 代は 12 人 42.8%、30 代は 23 人 40.3%、40 代は 20 人 35.7%、50 代は 18 人 28.1%、60 代は 12 人 15.5%、70 代は 5 人 14.7%、80 代、90 代は 0 人である。高齢者施設では調査をしていないが、今回のアンケート調査では高齢者での感染は少ない結果となった。高齢者の記述では、「三重県以外の外出を控えている」「食品の買い物だけ」という回答が多かった。

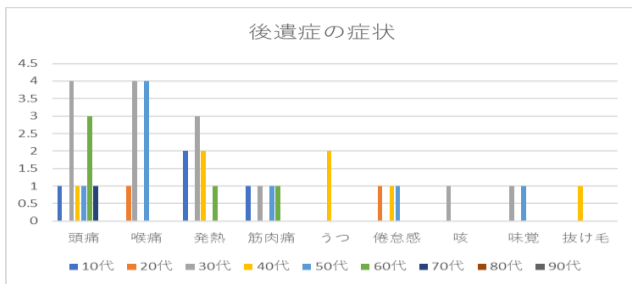


職業とコロナ歴有を見ると、無職 7 人 1.8%、医療従事者 8 人 2.1%、公務員 13 人 3.4%、会社員 30 人 7.9%、教師 2 人 0.5%、自営業 0 人、パート 17 人 4.5%、アルバイト 1 人 0.2%、学生 23 人 6.1% である。会社員、学生が高いことがいえた。(無 0 点、濃厚接触者等 1 点とした)

| コロナ歴 | 無職 | 医療従事者 | 公務員 | 会社員 | 教師 | 自営業 | パート | アルバイト | 学生 | 総計 | n=376 |
|---------|----|-------|-----|-----|----|-----|-----|-------|----|-----|-------|
| 無 | 65 | 20 | 20 | 64 | 10 | 16 | 54 | 7 | 19 | 275 | 0.731 |
| 有 | 7 | 8 | 13 | 30 | 2 | 0 | 17 | 1 | 23 | 101 | 0.268 |
| | 72 | 28 | 33 | 94 | 12 | 16 | 71 | 8 | 42 | 376 | |
| 濃厚接触者 | 1 | 4 | 7 | 9 | 2 | 0 | 5 | 1 | 7 | 36 | 0.092 |
| 軽いコロナ | 4 | 2 | 3 | 11 | 0 | 0 | 7 | 0 | 10 | 37 | 0.098 |
| 少し重いコロナ | 1 | 0 | 3 | 5 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 | 17 | 0.039 |
| 隔離 | 1 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 9 | 0.023 |
| 入院 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0.005 |
| 後遺症残る | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 4 | 0 | 5 | 15 | 0.039 |

後遺症の症状は、頭痛 11 人 2.9%、喉痛 9 人 2.3%、発熱 8 人 2.1%、筋肉痛 4 人 1%、うつ 2 人 0.5%、倦怠感 3 人 0.7%、咳 1 人 0.2%、味覚症状 2 人 0.5%、抜け毛 1 人 0.7% である。2022 年 12 月、5 回目のワクチン接種終了後にコロナ患者になったが、3 月になっても後遺症がひどく会社に行ったり来たりだという 40 代の女性がいる。咳がなかなか治らないので薬をもらいに来る人が多く、周りに嫌な思いをさせるので辛い人もいと薬剤師の人からの話もあった。3 月になったが、喉の痛みの男性も抜け毛の女性

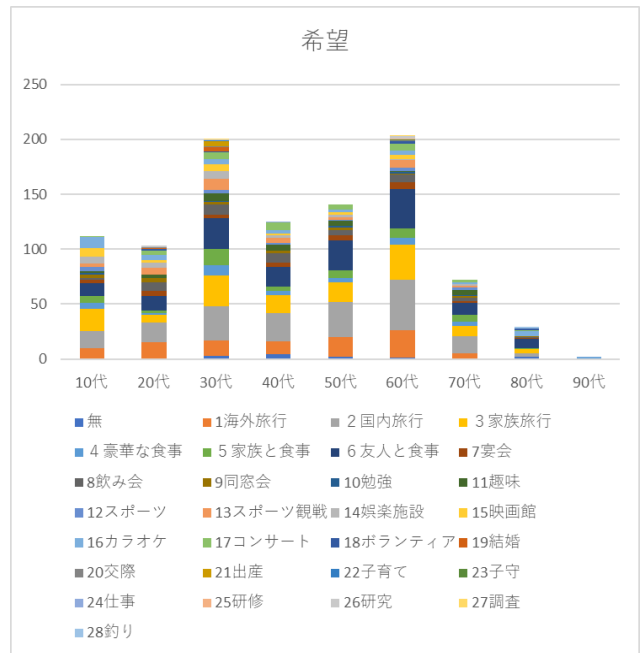
もまだまだ治っていなかった。



4. 希望

コロナ禍が落ち着いたらしたい事は、無 12人 3.1%、海外旅行 99人 26.3%、国内旅行 187人 49.7%、家族旅行 135人 35.9%、豪華な食事 35人 9.3%、家族と食事会 50人 13.2%、友人と食事会 153人 40.6%、宴会 29人 7.7%、飲み会 43人 11.4%、同窓会 18人 4.7%、勉強 5人 1.3%、趣味 28人 7.4%、スポーツ 15人 3.9%、スポーツ観戦 34人 9%、娯楽施設 25人 6.6%、映画 24人 6.3%、カラオケ 36人 9.5%、コンサート 32人 8.5%、ボランティア 6人 1.5%、結婚 5人 1.3%、交際 3人 0.7%、出産 4人 1%、子育て 1人 0.2%、子守 1人 0.2%、仕事 1人 0.2%、研修 1人 0.2%、研究 4人 1%、調査 2人 0.2%、釣り 1人 0.2% である。

| 希望 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 90代 | 総計 | n | % |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|
| 無 | 0 | 0 | 3 | 4 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 12 | 0.031 | |
| 1海外旅行 | 10 | 15 | 14 | 12 | 18 | 25 | 5 | 0 | 0 | 99 | 0.263 | |
| 2国内旅行 | 15 | 18 | 31 | 26 | 32 | 46 | 16 | 3 | 0 | 187 | 0.497 | |
| 3家族旅行 | 21 | 7 | 28 | 16 | 18 | 32 | 9 | 4 | 0 | 135 | 0.359 | |
| 4豪華な食事 | 5 | 2 | 9 | 4 | 4 | 6 | 4 | 0 | 1 | 35 | 0.093 | |
| 5家族と食事 | 6 | 2 | 15 | 4 | 7 | 9 | 6 | 1 | 0 | 50 | 0.132 | |
| 6友人と食事 | 12 | 13 | 28 | 18 | 27 | 36 | 11 | 8 | 0 | 153 | 0.406 | |
| 7宴会 | 3 | 5 | 3 | 4 | 5 | 6 | 2 | 1 | 0 | 29 | 0.077 | |
| 8飲み会 | 2 | 8 | 10 | 8 | 4 | 7 | 3 | 1 | 0 | 43 | 0.114 | |
| 9同窓会 | 3 | 4 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 18 | 0.047 | |
| 10勉強 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0.013 | |
| 11趣味 | 2 | 3 | 7 | 5 | 5 | 1 | 5 | 0 | 0 | 28 | 0.074 | |
| 12スポーツ | 4 | 0 | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 15 | 0.039 | |
| 13スポーツ観戦 | 3 | 6 | 10 | 4 | 2 | 7 | 2 | 0 | 0 | 34 | 0.09 | |
| 14娯楽施設 | 6 | 5 | 7 | 3 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 25 | 0.066 | |
| 15映画館 | 8 | 2 | 6 | 1 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 24 | 0.063 | |
| 16カラオケ | 10 | 5 | 5 | 3 | 2 | 4 | 2 | 4 | 1 | 36 | 0.095 | |
| 17コンサート | 1 | 4 | 6 | 7 | 5 | 6 | 2 | 1 | 0 | 32 | 0.085 | |
| 18ボランティア | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 6 | 0.015 | |
| 19結婚 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0.013 | |
| 20交際 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0.007 | |
| 21出産 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0.01 | |
| 22子育て | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.002 | |
| 23子守 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.002 | |
| 24仕事 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.002 | |
| 25研修 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.002 | |
| 26研究 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0.01 | |
| 27調査 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0.005 | |
| 28釣り | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.002 | |
| | 112 | 103 | 201 | 125 | 141 | 204 | 72 | 29 | 2 | 989 | | |



10代では家族旅行が1位である。10代では家族意識が高いことがいえる。20代～70代では国内旅行が1位である。しかし、80代では友人と食事が1位である。体力的に旅行より食事の意識が高いことがいえる。

2位は、10代では国内旅行、20代では海外旅行、30代では家族旅行、友人と食事である。40代～70代までは友人と食事である。80代では家族旅行、カラオケである。

3位は、10代、20代では友人と食事、40代、60代、70代では家族旅行、50代では海外旅行、家族旅行である。80代では国内旅行である。

全体では、国内旅行が5割、友人と食事が4割、家族旅行が3.5割と高い希望であった。60代男性が、「お金がなくてそんな余裕がない」と記述があった。

イベント会場での筆者がアンケートの調査中、10代学生の男子が友達に、「豪華な食事がある」と喜んでくれたのは驚いた。

5. 記述回答

30歳女性が、「ワクチン接種翌日、生理になってびっくりした」とある。30歳女性が、「軽いコロナになり、家での入浴に家族に嫌がられた、解っていても辛い日々が続き精神的に辛かった」とある。医療関係で働いている50代女性が、「軽いコロナになり、いじめられて辛かった」とある。30代男性が、「彼女の家が全員コロナになり、私は濃厚接触者

になり仕事を休んだ。忙しい時だったので申し訳なかった」とある。喘息の持病のある50代女性が、「軽いコロナになり、咳が長く続いて苦しかった」とある。喘息の持病がある30代男性が、「ワクチンの1回目を悩んだ。家族も打った時、心配してくれた」とある。狭心症の持病のある80代男性が、「ワクチンを4回受けて何ともなくてほっとした」とある。80代女性が、「マスクを付けないといけないので、化粧ができないのが嫌だ」とある。60代女性が、「急行で通勤していたが、コロナ禍で怖いので特急で通勤した。特急代が大変だった」とある。50代の会社員の男性が、「軽いコロナになり、外出できないので大変だった。家族もコロナになり毎日の生活が辛かった」とある。60代女性が、「1人で暮らしている息子がコロナになり、毎日の買い物ができないので大変だったらしい、私も行けなくて辛かった」とある。60代女性が、「1人で住んでいる息子が濃厚接触者になってしまい、会社を休み、会社に申し訳なかった。そして、夫は持病があるので、しばらく実家に来ないように言った」とある。60代女性が、「孫が熱を出す度に、心配した」とある。30代女性が、「保育所でコロナ禍が流行り、子どもが熱を出したので心配だったが、陰性でホッとした」とある。40代男性が、「私も妻もコロナになり、毎日の生活が困った」とある。40代男性が、「小学校の閉鎖で、妻が仕事に行けず非常に困った」とある。50代男性が、「妻が病院でコロナになり、子どもも私も家族全員がコロナになりたいへんだった」とある。放課後児童クラブに働く60代女性が、「クラブで何回も流行り、そのたび心配だった」とある。保育所で働く40代女性が、「保育所でのコロナ対策で、非常に忙しい」とある。50代の男性から、「子どもが学校に行けないので、1人で家にいるのが心配だった」とある。60代女性から、「娘さんの子どもの保育園が何回も閉所になり、娘が働きに行けず困っていた」とあり、同じ内容が3人もある。

6.まとめ

ワクチンは3回目、4回目で終了した人が多く、副反応も3回目、4回目がひどい人が多かった。仕事は増えたが収入は変化していない人が多かった。また、首になり生活がボロボロになった人も出た。コロナ歴は会社員と学生で多い結果となった。後遺症でまだ苦しんでいる人がいるの

である。ワクチンを打ったからといって安心してはいけない。

今までの3年間のストレスの解消には、家族旅行、国内旅行、友人との食事等を希望する人が多いことがいえた。旅行支援や買い物支援は効果的であるということになる。

2023年1月、総理がマスクを室外だけでなく室内も付けなくて良いということを言い始め、3月から自己管理になった。インフルエンザのように、症状のある人だけで良いということである。

オンラインの仕事や授業に慣れて、通勤や通学をしたくない人や学生も出ている。登校拒否の学生にはオンライン授業はいい方法である。筆者も学生から「オンラインのままにしてください」と言われたことがある。オンライン授業の方が楽だという先生もいる。しかし、単位だけの卒業や終了であればいいのであろうか。筆者が指導してきた教師や保育士等を目指す学生には、コミュニケーション能力は育成されないのではないか。人生の中で嫌な思いや意見の違う人との関わりを経験することも必要ではないか。そこから、強く生きることを学び、人に優しくできるのではないかと考えるのは筆者だけであらうか。

マスクの難点は多かったが、今後のマスク着用については、「電車やバスではする」「職場ではする」「夏まではマスクをする」「コロナ患者がいなくなるまで取るのは怖い」「外はしないが、スーパーに行くときはする」「孫がいるので、マスクはする」「施設内ではマスクをする」という回答が多かった。

2023年5月8日2類から5類になり、大学でも電車の中でもマスクを外している人が多くなった。今回の調査から、マスクは息がしにくく、メガネが曇るなど難点も多く、夏には外す人も急増すると考えられる。インフルエンザは症状が出やすいが、コロナは症状がでない前から感染力がある。専門家もウィルスの特性が変わるわけではないと指摘している。マスクを外すことはワクチンを打っていない人、打てない人、持病がある人、高齢者には怖い事である。

妊婦、乳幼児を含め、誰もが安心して過ごせる日々が早く来ることを望み、後遺症が残る人の回復を願うものである。